

橋梁検査路補修工の作業手順

制定・改定日 2022.7.19

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の確認 使用機械、資材、工具の点検 規制内容の確認 高所作業車(足場)の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書の内容確認 安全打合せ書 作業別安全チェックシートの活用 機材、道具類落下防止の確認 KY活動の実施 作業計画書の必要な工種はこれを確認すること
補修箇所の撤去	<ul style="list-style-type: none"> 高所作業車(足場)の設置 該当する変状箇所をサンダー等を使用して撤去する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全帯は、確実に使用する。 保護具を使用する。(耐切創用の手袋等を使用すること) 工具等を落とさないよう、ロープを取付落下防止処置を行う。 飛散防止措置をすること アウトリガー最大張り出し・地切確認・状況により敷板の設置 一般道規制の際は、監視員配置等、安全に必要な措置を講じる。 サンダー使用時はキックバックに注意し、状況に応じた防護衣
検査路付属物の設置	<ul style="list-style-type: none"> 金属部分のサビ取・防食材塗布 検査路付属物取り付け ボルトナット等・金具の締め付け固定確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全帯は、確実に使用する。 保護具を使用する。(マスク等) 飛散防止措置をすること。 工具等を落とさないよう、ロープを取付落下防止処置を行う。 一般道規制の際は、監視員配置等、安全に必要な措置を講じる。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材をトラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 運搬時飛散防止措置をすること

作業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1	名	発電機				ヘルメット	保護メガネ
現場監視員	1	名	ハンマードリル				反射(自発光)チョッキ	防塵マスク
作業員	2	名	サンダー				反射スパッツ	耳栓
			コードリール				発煙筒	安全帯
			工具類				黄旗	耐切創用手袋
			機材車				警笛	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 有資格者による、機械作業を行う。
- 機械設置個所の安全確保を確実にを行う。
- 作業に合った保護具を使用する。特に安全帯は、確実に使用する。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 一人作業の禁止**